



## フェンスAB

## 切詰端部カバー

このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。  
製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためにも、各種表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容および指示にしたがってください。

## ■本書の見かた

この取付説明書では、以下のような記号、記載、アイコンを使用しています。

## 安全に関する記号と説明

-  **警告** ・取扱いを誤った場合に使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示します。
-  **注意** ・取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれのある内容を示します。

## 情報に関する記号と説明

-  **お願い** ・取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。  
・守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。
-  **補足** ・説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

## ねじ等の締結部品の記号

ねじやナット等の締結部品を記号で示しています。(例：1a、1b、2c等)  
締結部品の種類は「**梱包明細表**」を参照してください。

※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

## □ 施工の前に

-  **警告**
- フェンスは隣地との境界を示す目的で設置するものです。転落防止を目的とした防護柵や歩行補助を目的とした手すりとしては使用しないでください。特に崖上や高台など、転落してケガをするおそれのある場所へは施工しないでください。

-  **注意**
- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。

-  **お願い**
- ブロックに施工する場合は、JIS A 5406 の区分16(C種)以上で施工してください。
  - 施工場所に寸法的に正しく納まるか事前に十分確認をしてください。
  - 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
  - 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。
  - 梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
  - 給湯器や暖房機などの熱排気が、製品に直接当たらないように施工してください。熱による部材の変形・劣化の原因になります。

## □ 施工上のご注意

### ⚠ 注意

- ねじは当社指定品を指定本数使用し、下記締付トルクで固定した後にゆるみがないか確認してください。  
〈推奨トルク〉アルミ φ4ねじ：1.5N・m±0.5N・m (15±5kgf・cm)  
樹脂 φ4ねじ：1.0N・m±0.5N・m (10±5kgf・cm)
- 施工時に製品の表面に付着したモルタルやコンクリートなどは、速やかに拭き取ってください。アルミなどの金属が腐食する原因となります。
- 本体を切断する前に、パネルが平らで安定した状態にしてください。本体が不安定だと、ケガをするおそれがあります。
- T14・16の場合、切詰めした本体は末端に施工してください。フェンス本体が落下するおそれがあります。
- 柱と本体ジョイント部の間隔は300mm以内に施工してください。それ以上離れると製品強度が維持できなくなります。
- 組付け後、必ず鋭利な切断面やバリが露出していない事を確認し、修正してください。ケガをするおそれがあります。
- 製品の改造は絶対にしないでください。
- 施工終了後は、ねじにゆるみがないか確認してください。

### 💡 お願い

- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
  - ・作業服および保護具(保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具)を正しく使用してください。
  - ・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。  
特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
  - ・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
  - ・作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。  
免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
  - ・作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
  - ・万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- 施工中についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗料で補修してください。

## □ YL2型、YL2-K型、YL3型、YS2型、YS3型、YS3-K型、YR3型、YM2型の施工動画

- QRコードにアクセスいただくと、施工説明動画をご覧いただけます。  
動画は参考例になります。必ず説明書の手順を実施してください。

施工説明動画



## INDEX

1	YL2型、YL2-K型、YL3型、YS2型、YS3型、YS3-K型、YR3型、YM2型の場合	3
1.	本体の分割と穴加工	3
2.	本体の組付け	7
3.	上棧・下棧の取付け	8
2	TS2型、TS2-K型の場合	9
1.	本体の分割と穴加工	9
2.	本体の組付け	11
3	YS1型、YT2型、TM1型の場合	13
1.	本体の分割と穴加工	13
2.	本体の組付け	15
3.	上棧・下棧の取付け	16
	梱包明細表	16

# 1 YL2型、YL2-K型、YL3型、YS2型、YS3型、YS3-K型、YR3型、YM2型の場合

## 1-1 本体の分割と穴加工

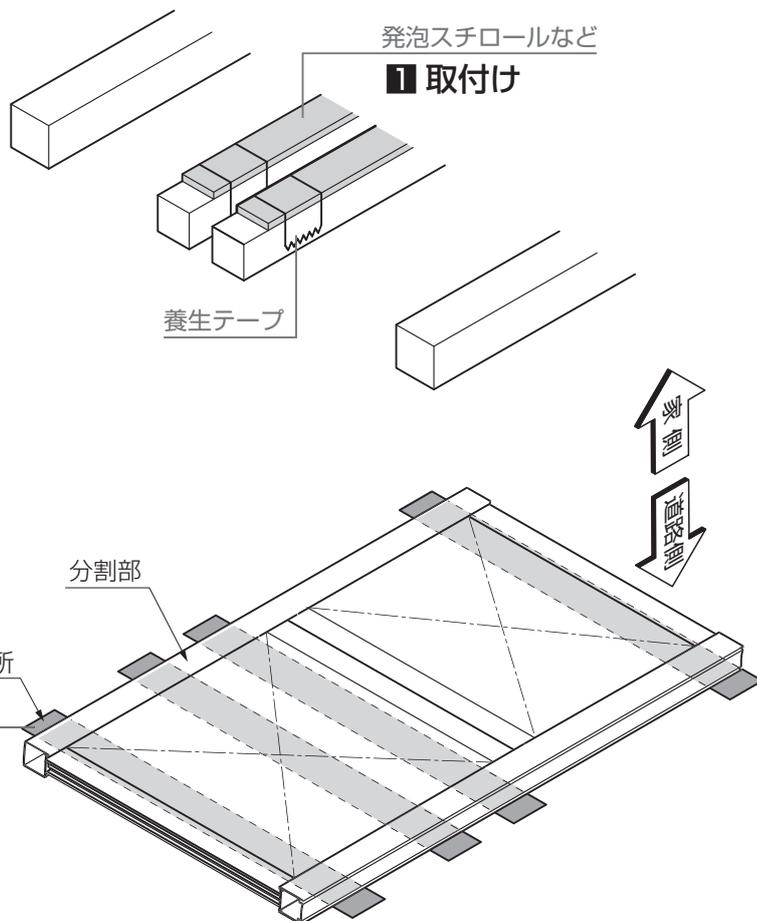
### 補足

- 本手順はばらさずに切断する方法です。本体をばらして切断することも可能です。

- 1: 枕木などを準備し、上下棧とパネルの段差部が埋まるように発泡スチロールなどを養生テープで取付け

### 補足

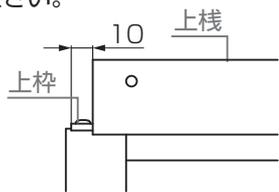
- フェンス本体の梱包内にある発泡材を使用すると便利です。発泡材がない場合はダンボールを重ねて代用してください。  
(※発泡材が入っていない梱包もあります。)



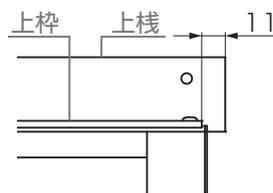
- 2: 上棧・下棧をずらす

### お願い 1

- 上下棧は上枠・下枠の端部から10mmになるようにずらしてください。



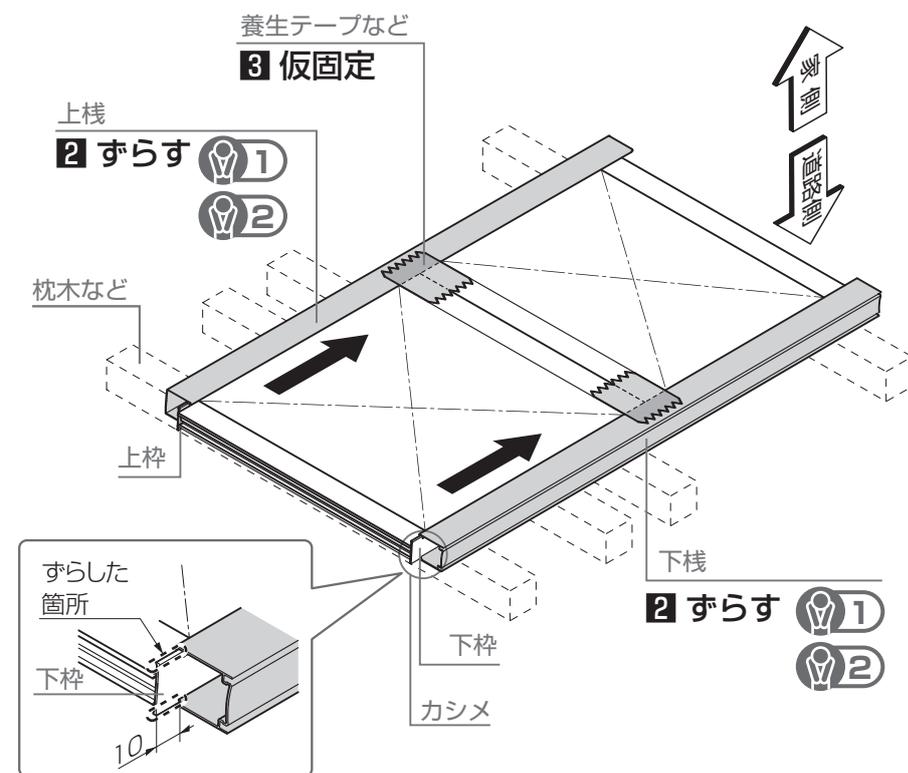
- 反対側は11mm飛び出します。



- 3: 上下棧が動かないように養生テープで仮固定

### お願い 2

- 上枠・下枠にはカシメがついています。抜けにくい場合は、当て木をしてゴムハンマー等でたたいて抜いてください。
- 上下棧をずらすときは、キズつかないように注意してください。



## 1-1 本体の分割と穴加工

つづき

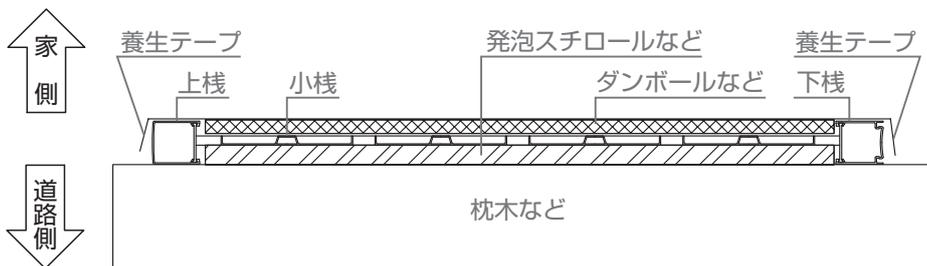
### 1-1-1 上棧・下棧の仮固定と養生

つづき

4: 本体にキズがつかないように養生

#### 補足

- 梱包材のダンボール2~3枚程度を重ねて養生テープで貼ると上下棧とパネル(小棧)のすき間を埋められます。



### 1-1-2 本体の分割

1: 電動丸ノコの刃の位置を確認

2: 分割位置にガイドを固定

#### 注意

- 本体を切断する前に、パネルが平らで安定した状態にしてください。本体が不安定だと、ケガをするおそれがあります。

3: 本体を分割位置で切断

#### お願い

▼ 小棧同士に隙間のあるフェンスの場合 ▼

- 当て木等をして小棧を固定してから切詰めてください。

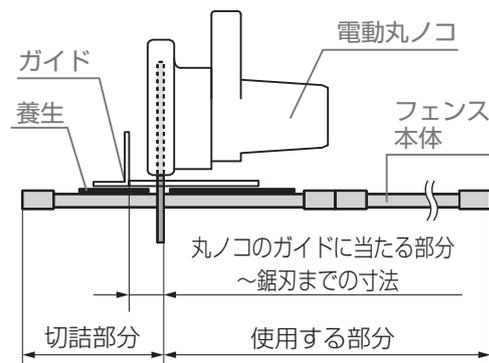
養生(ダンボール)

ガイド

2 固定

電動丸ノコ

1 確認

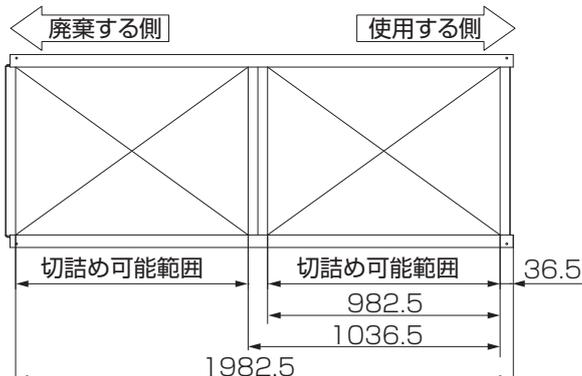


#### 補足

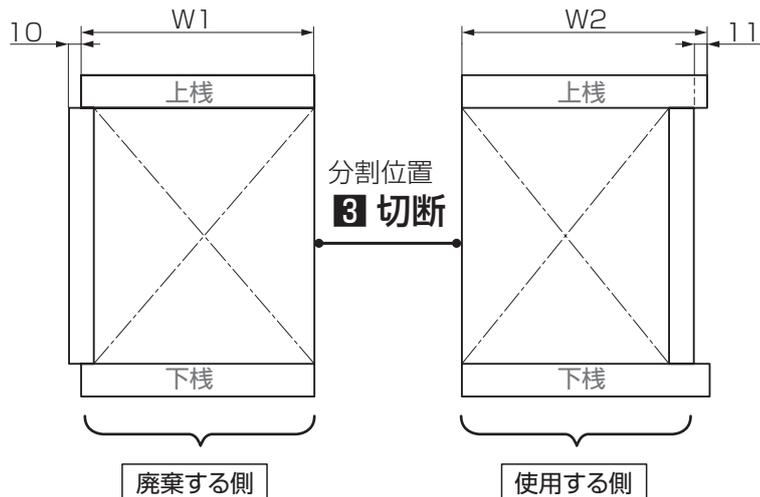
- 鋸刃の厚みや位置関係を考慮し、パネルにマーキングして切断してください。

#### 補足

- 切詰めの際は縦線を避けて切断してください。切詰め位置が縦線と重なる場合は、寸法を変更するか、左右両側を切詰めてください。

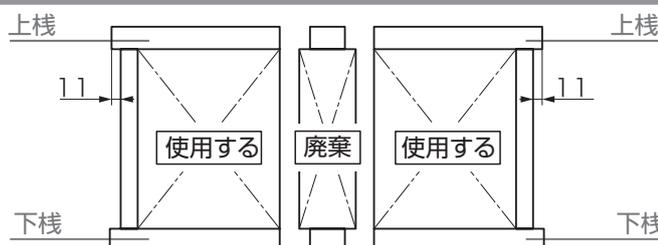


※W2はフェンス分割後の上下棧の寸法です。



#### お願い

- 切断した両側を使用する場合、上下棧を反対側にずらし、上下棧端部から11mm長い状態にして、中央側を再度切断してください。本体を一度切断した状態では、上下棧が小棧より短く、そのままでは取付できません。



## 1-1 本体の分割と穴加工

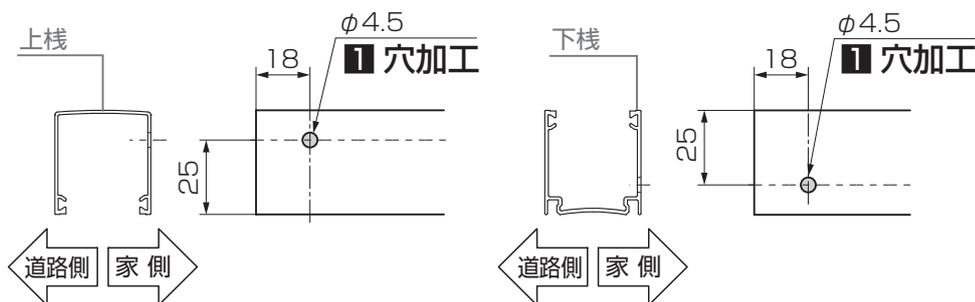
つづき

### 1-1-3 穴加工

1: 上棧、下棧にφ4.5の穴加工

#### 補足

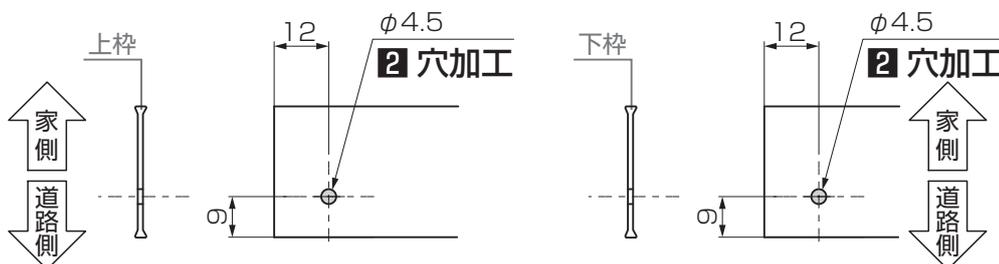
● φ4.5の穴加工は上下棧の家側のみです。



2: 上枠、下枠にφ4.5の穴加工

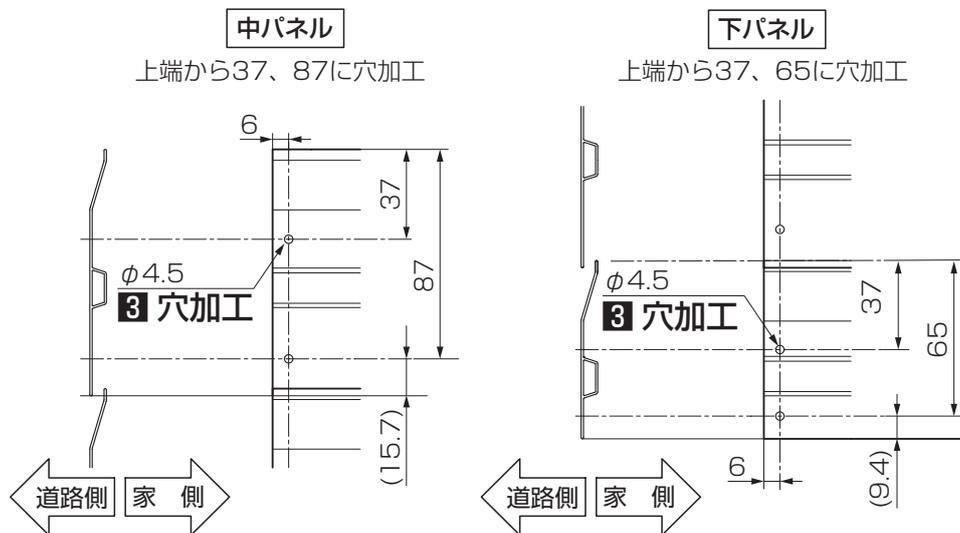
#### 注意

● 穴加工時、上下枠が揺れて危険なため上下棧を穴加工に邪魔にならない位置まで戻して加工してください。

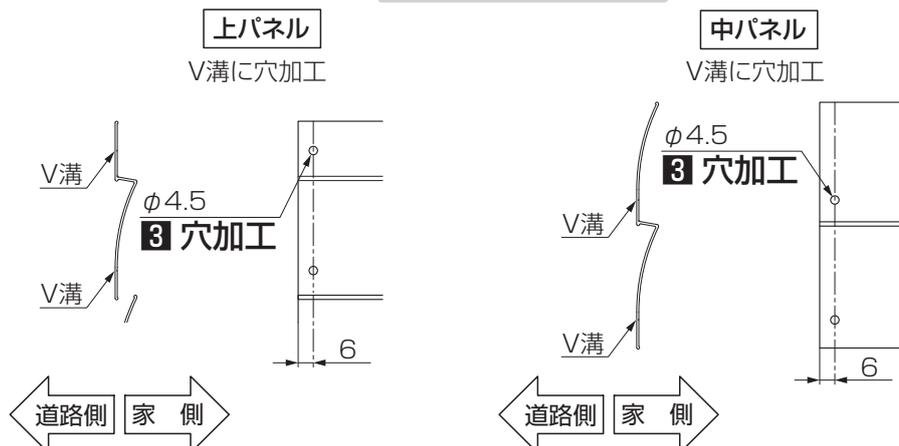


#### ▼ YL2型、YL2-K型の場合 ▼

3: パネルを穴加工



#### ▼ YL3型の場合 ▼



1-1 本体の分割と穴加工

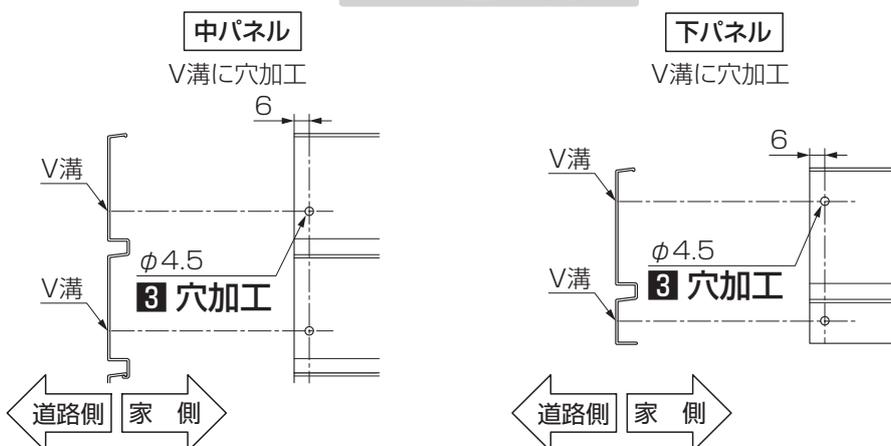
つづき

1-1-3 穴加工

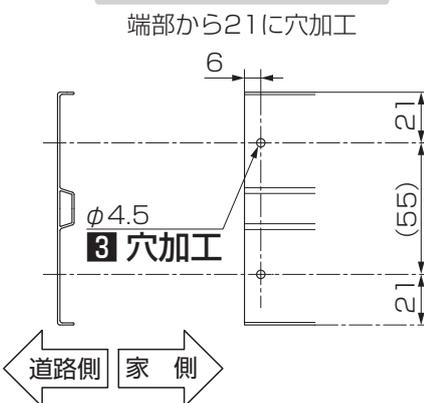
つづき

3: パネルを穴加工

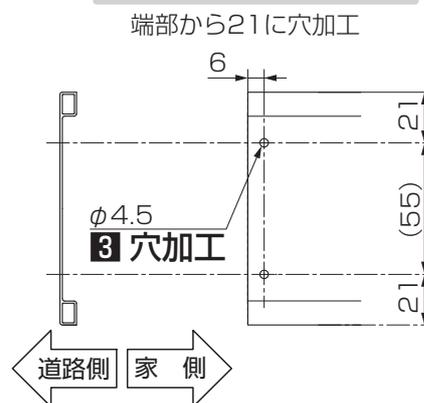
▼ YM2型の場合 ▼



▼ YS3型の場合 ▼

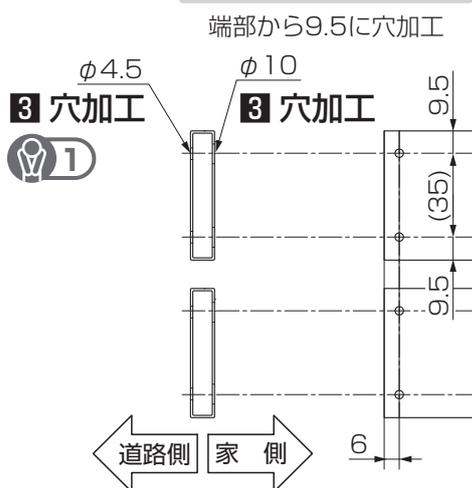


▼ YS3-K型の場合 ▼

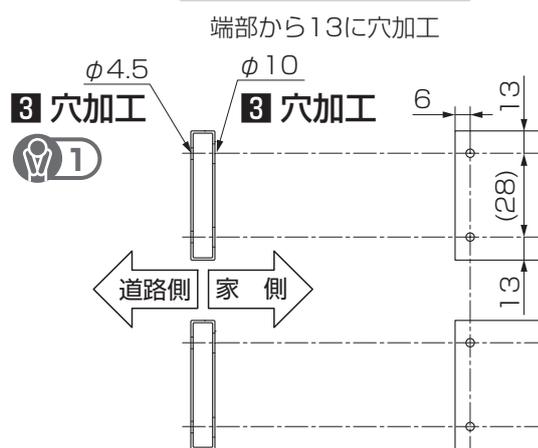


3: パネルを穴加工

▼ YS2型の場合 ▼



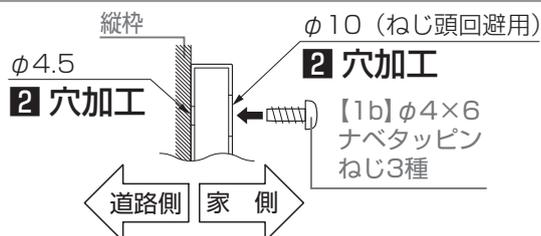
▼ YR3型の場合 ▼



💡 お願い 1

▼ YS2型、YR3型の場合 ▼

- 道路側にφ4.5、家側にφ10(ねじ頭回避用)の穴をあけてください。



1-2 本体の組付け

※本図はYL3型を示します。

- 1: 縦枠を上下枠に【1a】φ4×15ナベ  
タッピンねじ2種 G=3/φ4×20バイン  
ドタッピンねじ2種 G=5で仮止め
- 2: 縦枠を小枠に【1b】φ4×6ナベタッピ  
ンねじ3種で取付け
- 3: 縦枠を縦枠にはめる
- 4: 上下枠を本締め
- 5: 縦枠を縦枠に【1c】M4×6トラス小ね  
じで取付け

補足

●ねじ【1a】は高さによって同梱さ  
れているねじが異なります。

▼ T6～T12の場合 ▼

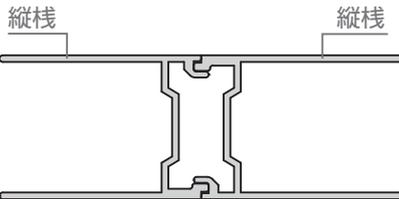
「φ4×15ナベタッピンねじ2種 G=3」

▼ T14・T16の場合 ▼

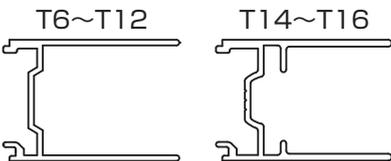
「φ4×20バインドタッピンねじ2種 G=5」

お願い 1

●フェンスを連結する場合は、縦枠  
の取付の向きに注意してください。

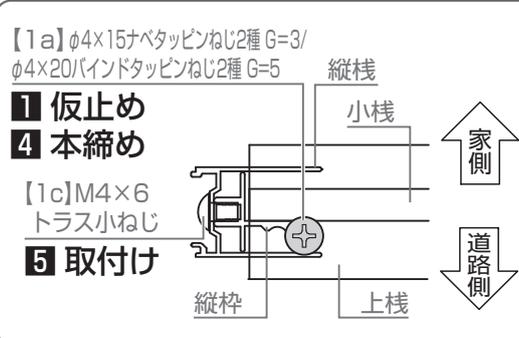
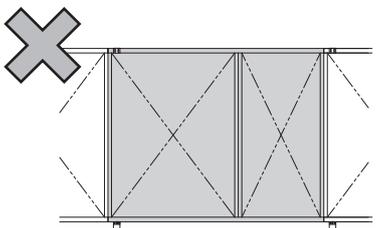
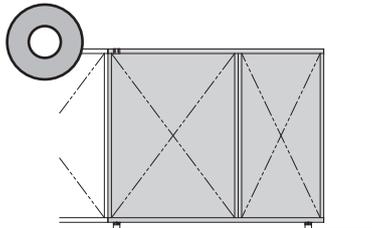


●T14～T16の縦枠の断面はT6～  
T12と異なります。



注意

●T14・16の場合、切詰めした本  
体は末端に施工してください。  
フェンス本体が落下するおそれ  
があります。



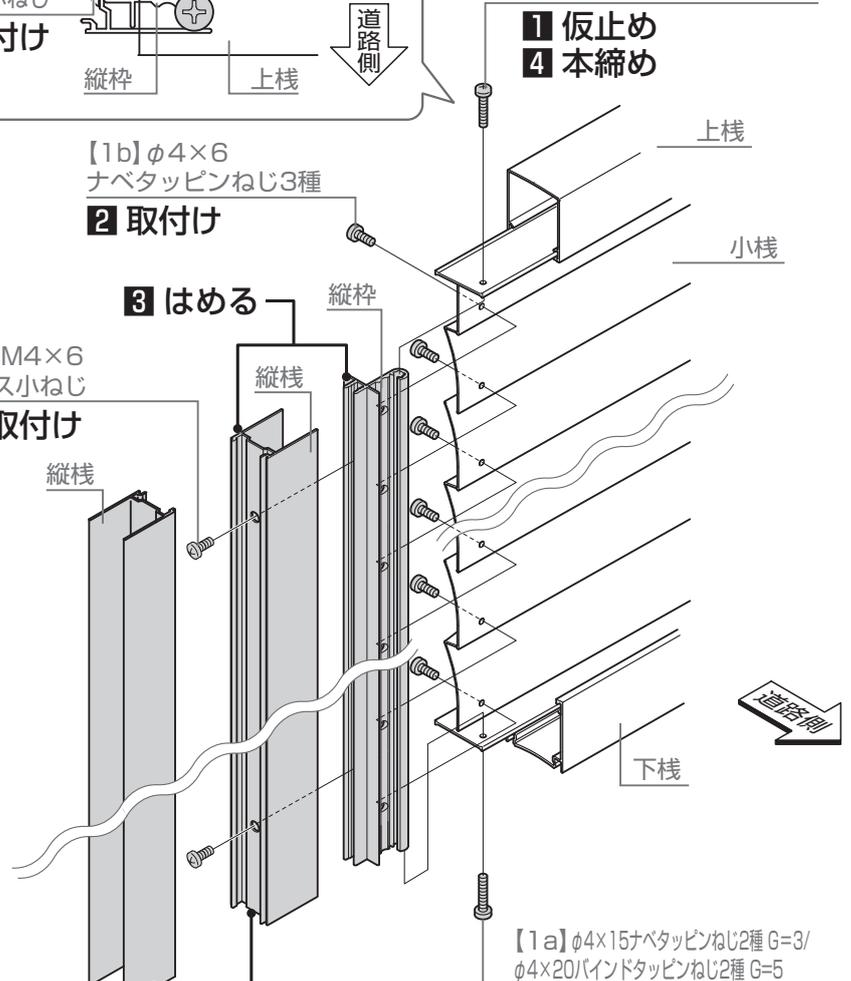
【1b】φ4×6  
ナベタッピンねじ3種

2 取付け

3 はめる

【1c】M4×6  
トラス小ねじ

5 取付け



フェンスを  
連結する場合



# 1 YL2型、YL2-K型、YL3型、YS2型、YS3型、YS3-K型、YR3型、YM2型の場合

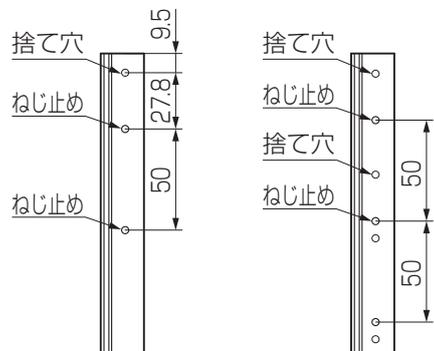
## 1-2 本体の組付け

※本図はYL3型を示します。 つづき

### 補足

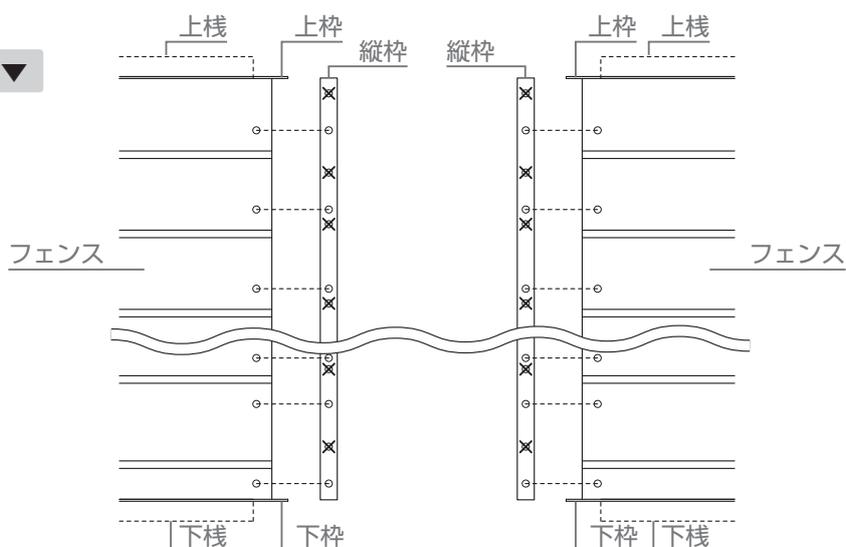
▼ YL2型、YL2-K型、YM2型の場合 ▼

●縦枠に捨て穴があります。



▲ YL2型、YL2-K型 ▲

▲ YM2型 ▲



## 1-3 上棧・下棧の取付け

1: 上棧・下棧をもとのように取付け

### お願い 1

●上下棧を取外した時と同様に、上下棧のスライド方向に注意してください。

2: 上下枠に上下枠スペーサーを取付け

### お願い 2

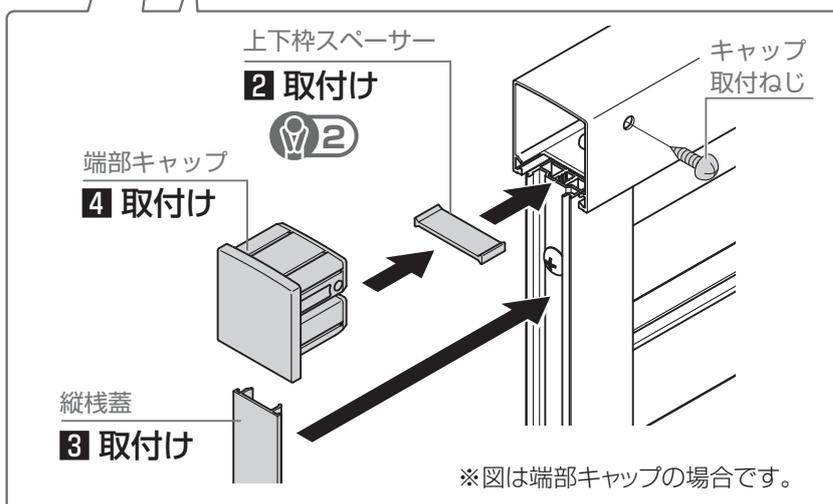
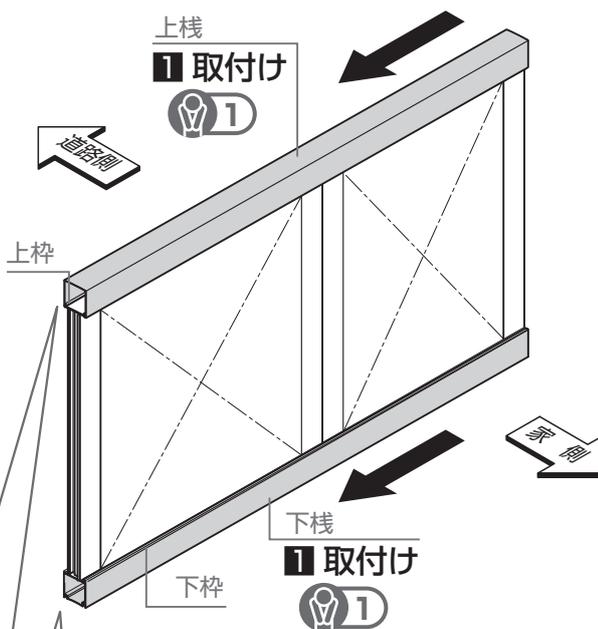
●上下枠スペーサーを必ず取付けてください。

3: 縦棧蓋を縦棧に取付け

4: 端部キャップを上下棧にキャップ取付ねじで取付け

### 補足

●端部キャップ・縦棧蓋の取付けについてはキャップに同梱の取付説明書を参照してください。



# 2 TS2型、TS2-K型の場合

## 2-1 本体の分割と穴加工

### 2-1-1 上棧・下棧の仮固定と養生

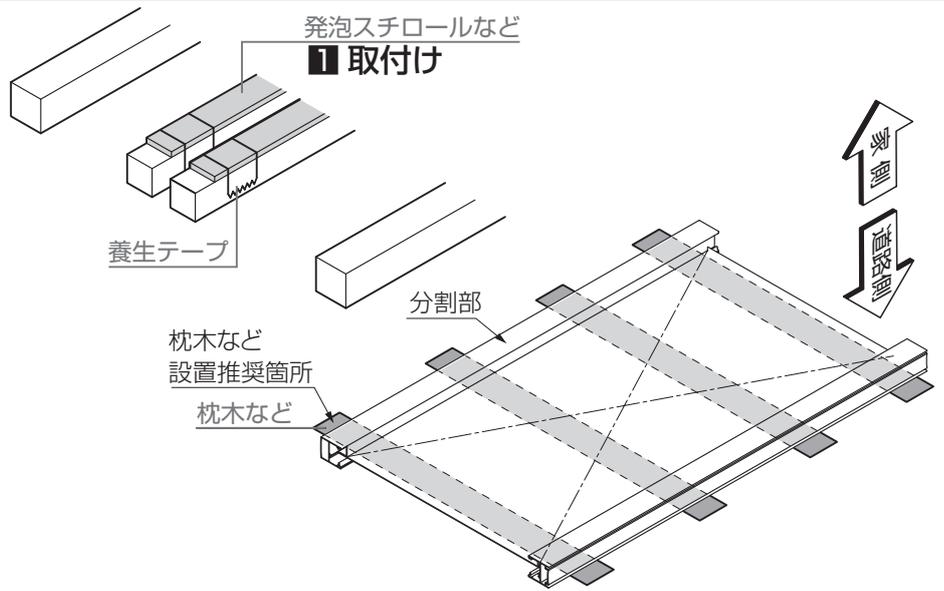
#### 補足

- 本手順はばらさずに切断する方法です。本体をばらして切断することも可能です。

- 1: 枕木などを準備し、上下棧とパネルの段差部が埋まるように発泡スチロールなどを養生テープで取付け

#### 補足

- フェンス本体の梱包内にある発泡材を使用すると便利です。発泡材がない場合はダンボールを重ねて代用してください。  
(※発泡材が入っていない梱包もあります)



#### お願い 1

▼ コーナー部または端部を切り詰める場合 ▼

▼ 切詰め部がTS2型同士のストレート継手による連結部かつ切詰め縦棧の使用が片側1枚の場合 ▼

- 切詰める側の上下棧と上下枠の端部の位置を合わせてください。上下棧と上下枠の切断長さが等しくなるようにします。

#### お願い 2

▼ 切詰め縦棧同士または他の型※と連結する場合 ▼

- 切断寸法が変わります。P12を参照してください。

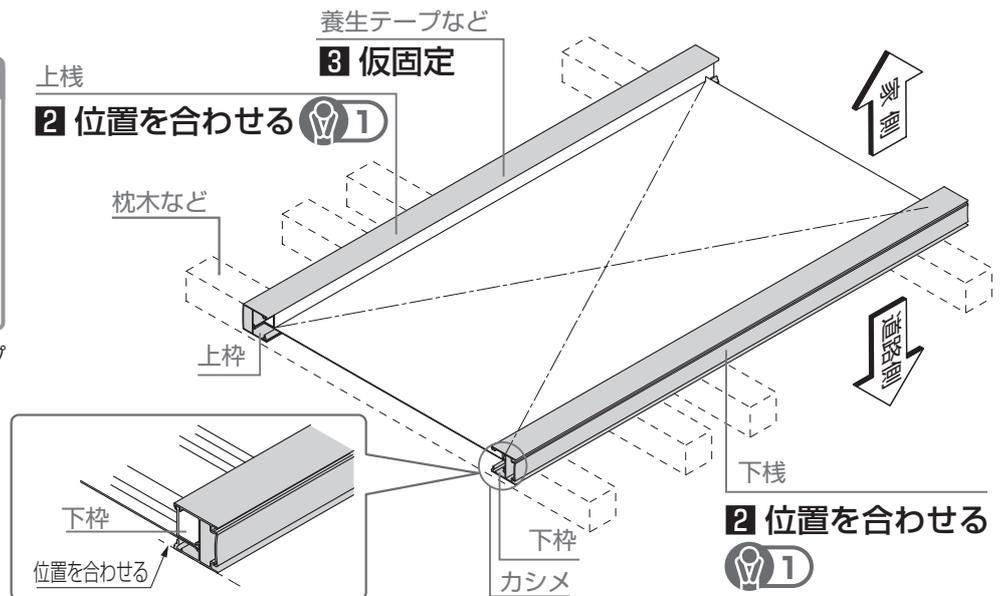
※TR1 型、TR2 型、TR3 型、TS1型との連結の場合は、端部切詰め時と同様に上下棧と上下枠の端部の位置を合わせてください。

2: 上下棧・上下枠の位置を合わせる

#### お願い 3

- 上枠・下枠にはカシメがついています。上下棧が動きにくい場合は、当て木をしてゴムハンマー等でたたいて動かしてください。
- 上下棧を動かすときは、キズがつかないように注意してください。

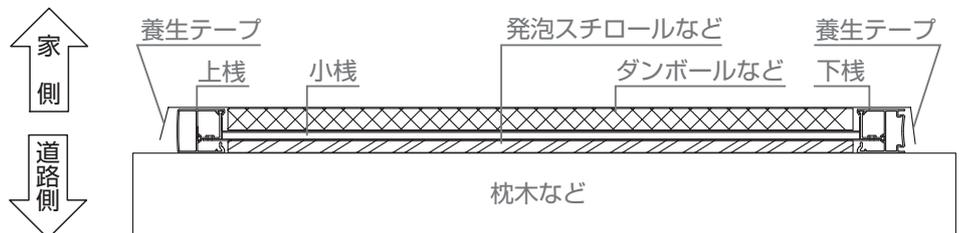
3: 上下棧が動かないように養生テープで仮固定



4: 本体にキズがつかないように養生

#### 補足

- 梱包材のダンボール4~5枚程度を重ねて養生テープで貼ると上下棧とパネル(小棧)のすき間を埋められます。



2-1 本体の分割と穴加工

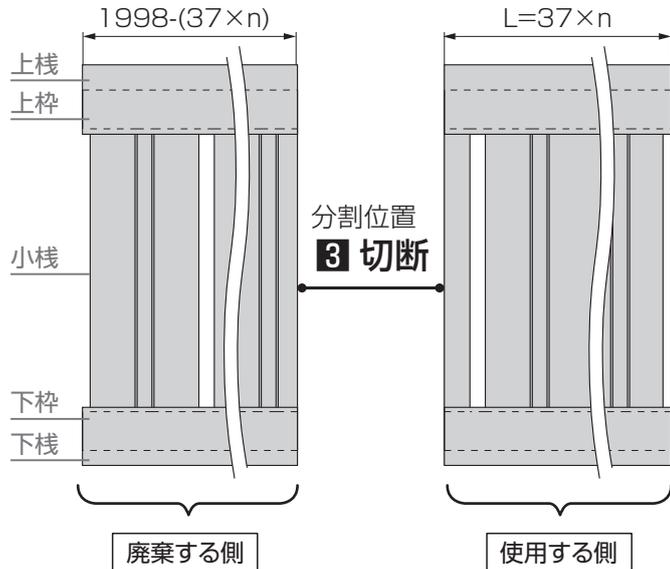
2-1-2 本体の分割

- 1: 電動丸ノコの刃の位置を確認
- 2: 分割位置にガイドを固定

**注意**

- 本体を切断する前に、パネルが平らで安定した状態にしてください。本体が不安定だと、ケガをするおそれがあります。

- 3: 本体を分割位置で切断



**お願い**

- 37mmの倍数で切詰め可能です。
- 本体(上下棧)端から37mmピッチで切断してください。
- 小棧の間で切断する場合、切詰め端部カバーは不要です。(小棧の切断を伴う切詰めを行う場合、切詰め端部カバーが必要となります。)

**補足**

- 切詰め後の使用する側の上下棧寸法をLとしたときのnの値は  $n \doteq L / 37$

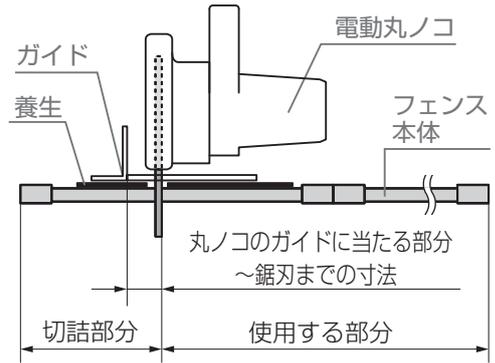
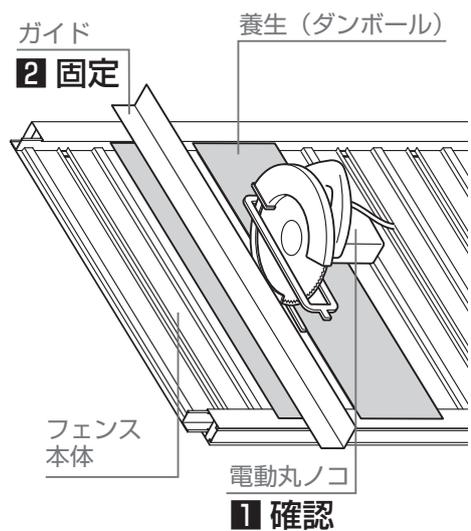
例：750mm前後で使用したい場合

$$n \doteq L / 37 = 750 / 37 = 20.27\dots$$

n = 20とすると  $L = 37 \times 20 = 740\text{mm}$

n = 21とすると  $L = 37 \times 21 = 777\text{mm}$

となります。現場の状況に合わせて寸法を決定してください。



**補足**

- 鋸刃の厚みや位置関係を考慮し、パネルにマーキングして切断してください。

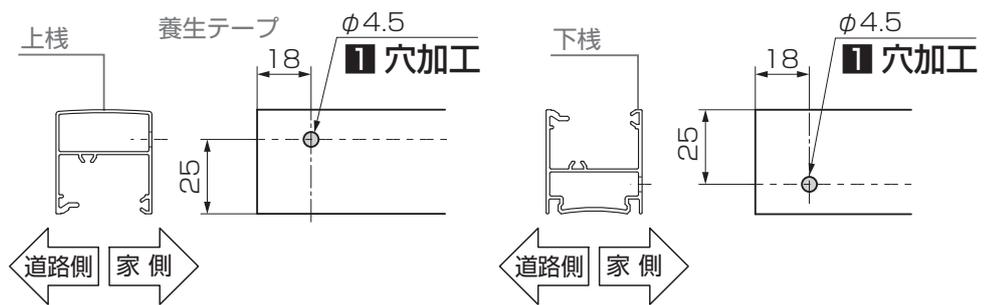
## 2-1 本体の分割と穴加工

### 2-1-3 穴加工

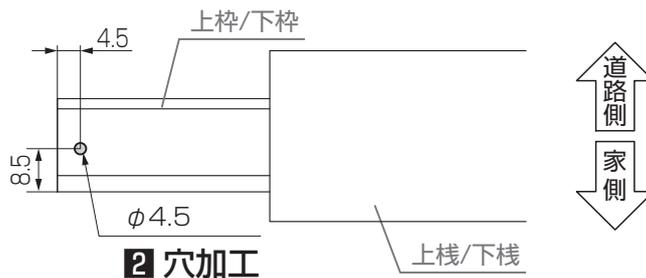
1: 上棧、下棧にφ4.5の穴加工

#### 補足

- φ4.5の穴加工は上下棧の家側のみです。



2: 上枠、下枠にφ4.5の穴加工



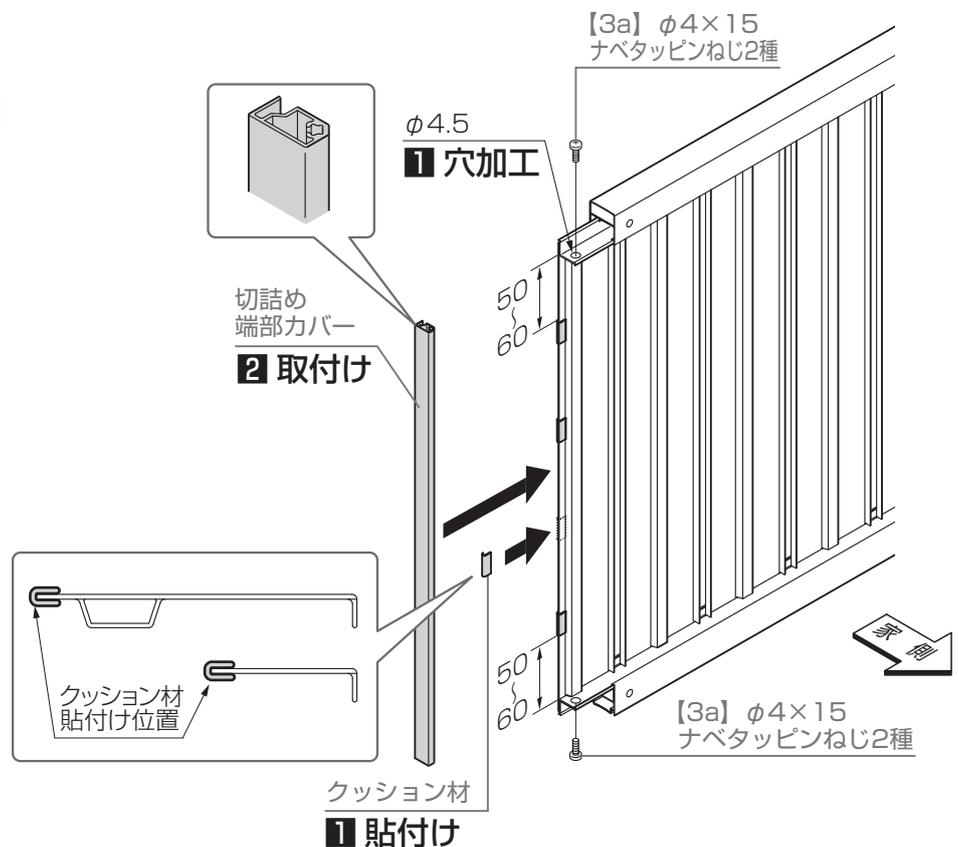
## 2-2 本体の組付け

1: 切断した中パネルの切断面に、クッション材を貼付け

#### 補足

- クッション材は、上下の「端部から約50～60mm」を基準にして4箇所に均等に貼付けます。

2: 切詰め端部カバーを小棧に【3a】φ4×15ナベタッピンねじ2種で取付け



### 2-1 本体の分割と穴加工

つづき

#### ▼ 切詰め縦桟同士または他の型※と連結する場合 ▼ (※TR1型、TR2型、TR3型、TS1を除く)

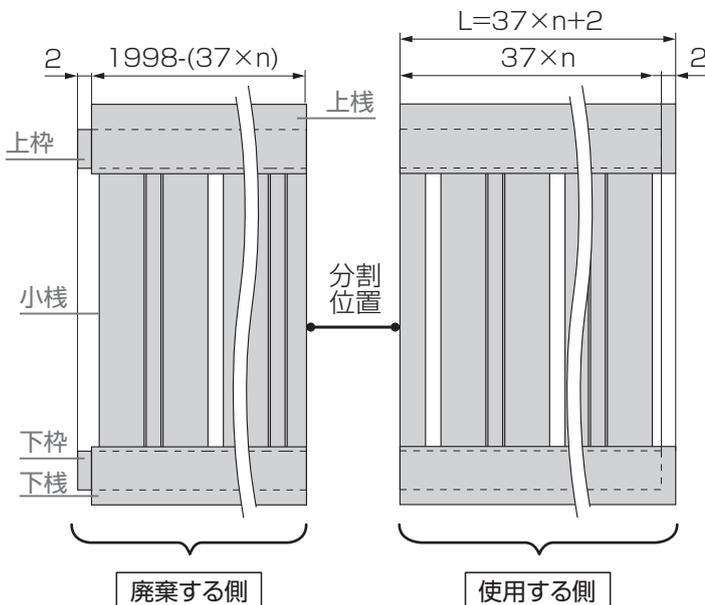
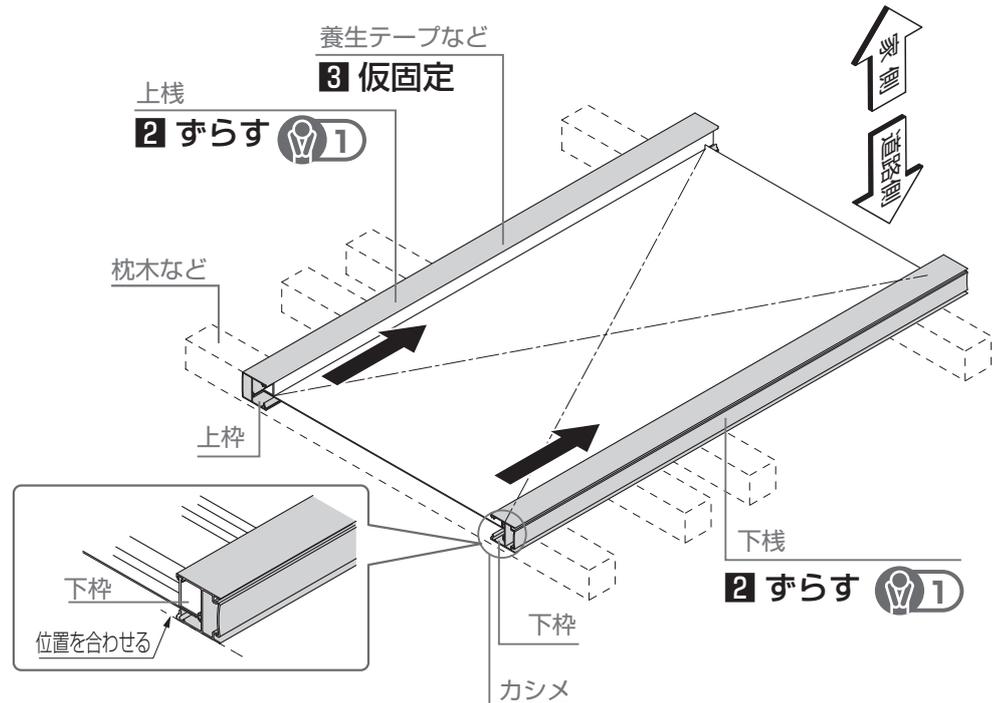
❶: 枕木などを準備し、上下桟とパネルの段差部が埋まるように発泡スチロールなどを養生テープで取付け

❷: 上桟・下桟をずらす

#### ❶ お願い

- 上下桟が上下枠の端部から2mmになるようにずらしてください。
- 上枠・下枠にはカシメがついています。抜けにくい場合は、当て木をしてゴムハンマー等でたたいて抜いてください。
- 上下桟をずらすときは、キズがつかないように注意してください。

❸: 上下桟が動かないように養生テープで仮固定



#### 補足

● 切詰め後の使用する側の上下桟寸法をLとしたときのnの値は  $n \div (L-2) / 37$

例: 750mm前後で使用したい場合

$$n \div (L-2) / 37 = (750-2) / 37 = 20.21...$$

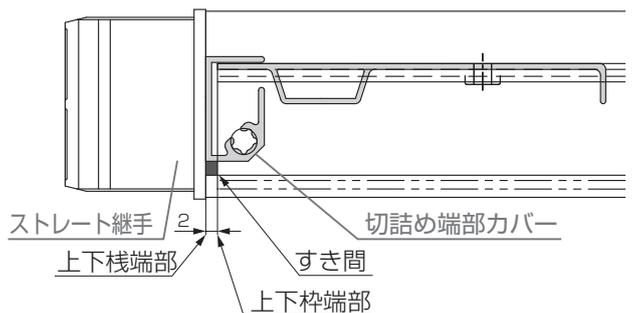
$$n = 20 \text{ とすると } L = 37 \times n + 2 = 37 \times 20 + 2 = 742 \text{ mm}$$

$$n = 21 \text{ とすると } L = 37 \times n + 2 = 37 \times 21 + 2 = 779 \text{ mm}$$

となります。現場の状況に合わせて寸法を決定してください。

#### 補足

● 上下桟を2mmずらすため、上下桟の端部・切詰め縦桟の横に2mm程度のすき間が空きますが、製品の品質上問題ありません。



# 3 YS1型、YT2型、TM1型の場合

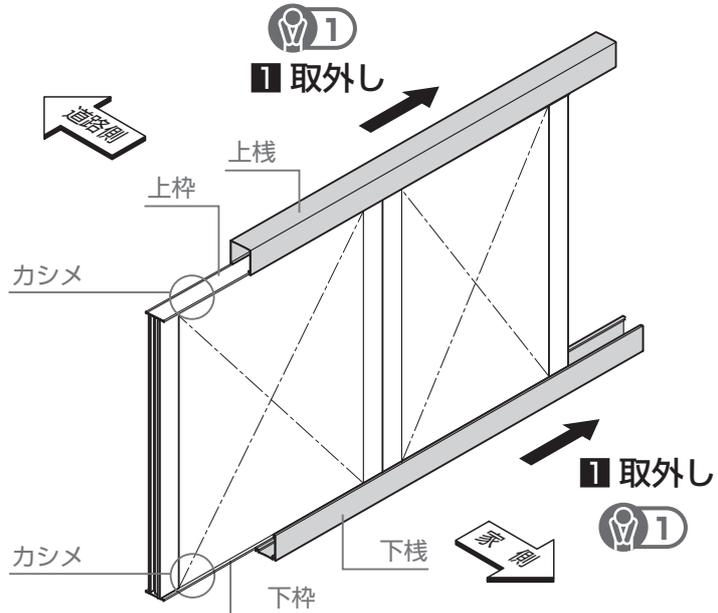
## 3-1 本体の分割と穴加工

### 3-1-1 上棧・下棧の取外し

1: 上棧・下棧を内観右側へ取外す

#### お願い 1

- 上棧・下棧にはカシメがついています。抜けにくい場合は、当て木をしてゴムハンマー等でたたいて抜いてください。



### 3-1-2 本体の分割

#### ▼ YS1型、YT2型の場合 ▼

1: 本体を分割位置で切断

#### 補足

- W1、W2はフェンス分割後の上下棧の寸法です。

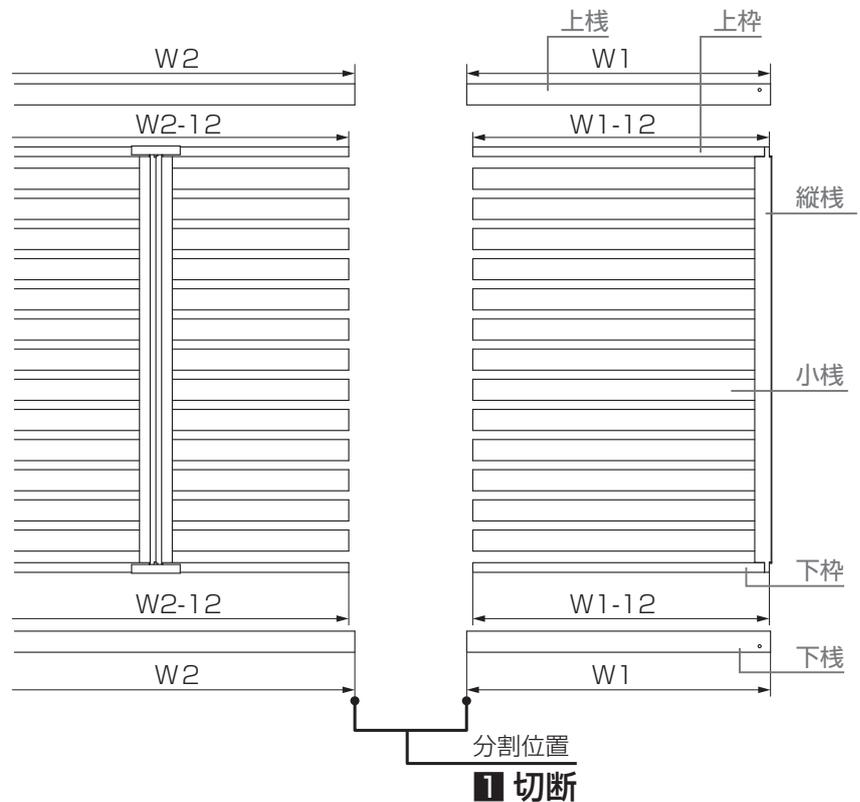
#### お願い

##### ▼ 小棧同士に隙間のあるフェンスの場合 ▼

- 当て木等をして小棧を固定してから切詰めてください。

#### お願い

- [|2-1-3| 穴加工](#)に進み、上下棧へ穴加工を行ってください。その後、[|2-2| 本体の組付け](#)に進み、分割部へ切詰用縦棧を取付けてください。



### 3 YS1型、YT2型、TM1型の場合

#### 3-1 本体の分割と穴加工

つづき

##### 3-1-2 本体の分割

つづき

###### ▼TM1型の場合▼

1: 本体の分割位置を決める

### 重要

分割位置は必ず右記「お願い」の指定位置で分割するようにしてください。

**指定位置以外で分割すると組立て出来なくなります。**

### 補足

●W1、W2はフェンス分割後の上下棧の寸法です。

2: 上下棧、上下枠を分割位置で切断

3: 上下枠の切断位置にかかるパネルを取外す

### 補足

●切断位置のパネルは破棄してください。

### お願い

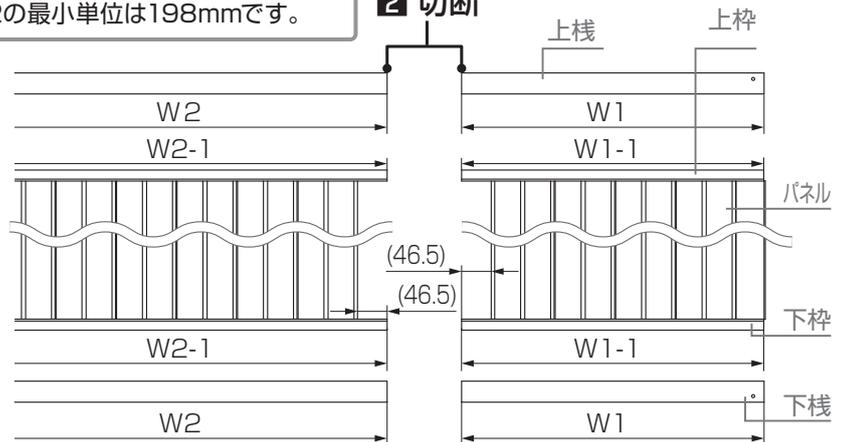
●|2-1-3|穴加工に進み、上下棧へ穴加工を行ってください。その後、|2-2|本体の組付けに進み、分割部へ切詰用縦棧を取付けてください。

### お願い

- W1,W2は100,200,300…の100mm単位で切断してください。切断位置はパネルの中央付近になります。W1,W2=n1,n2×100mm+98mmです。n1,n2はパネルの枚数です(切詰縦棧A,Bの枚数は含めない)。W1,W2の最小単位は198mmです。

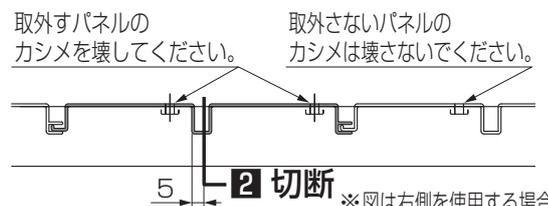
1 位置決め

2 切断

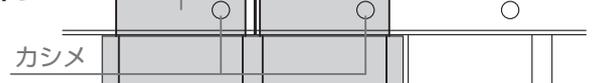


### お願い

- パネルを取外すには、カシメの中心にφ5の穴をあけ、上下各2箇所のカシメを壊してください。切断位置にかからない、他のパネルのカシメは壊さないでください。



切断位置にかかるパネル  
3 取外す

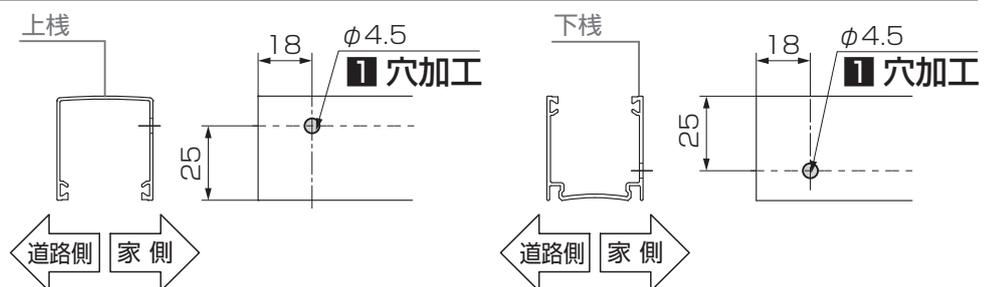


#### 3-1-3 穴加工

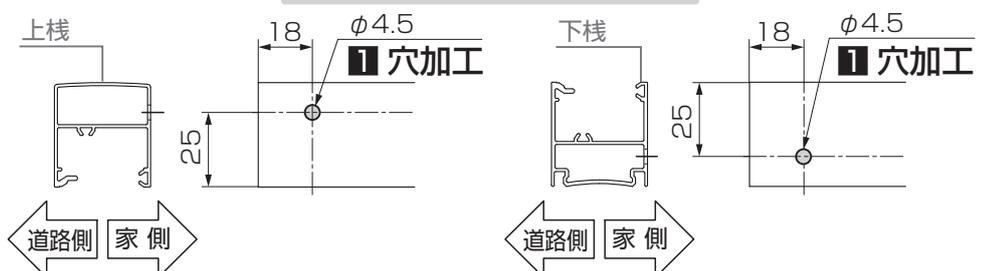
1: 上棧、下棧にφ4.5の穴加工

### 補足

●φ4.5の穴加工は上下棧の家側のみです。



#### ▲ YS1型、YT2型の場合 ▲



#### ▲ TM1型の場合 ▲

### 3 YS1型、YT2型、TM1型の場合

#### 3-2 本体の組付け

##### 3-2-1 | YS1型、YT2型

※本図はYS1型を示します。

- 1: 縦棧を上枠、パネル、下枠に【2a】φ4×15ナベタッピンねじ2種 G=3で取付け
- 2: 上棧・下棧をもとのように取付け

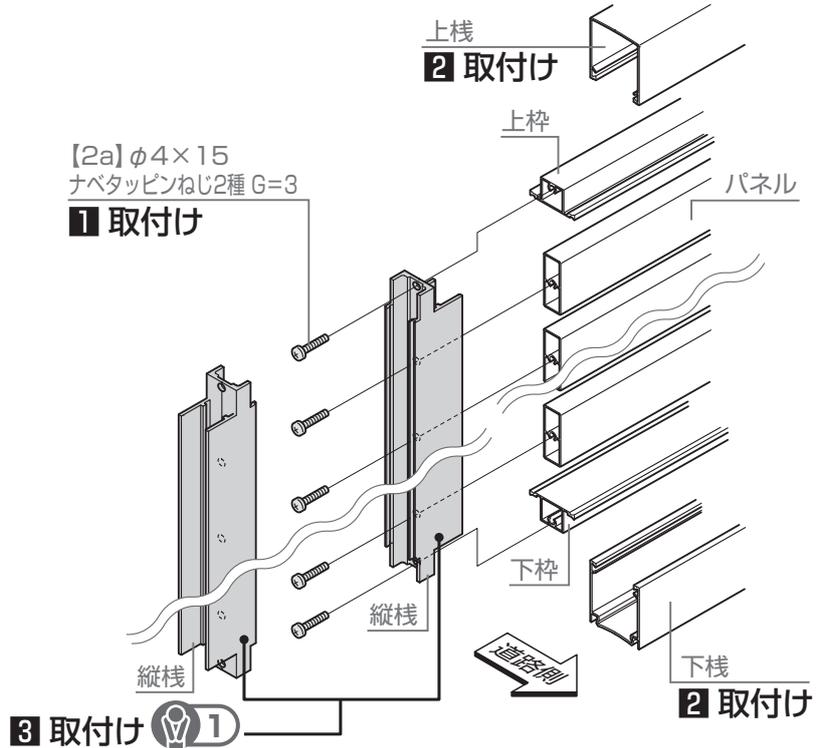
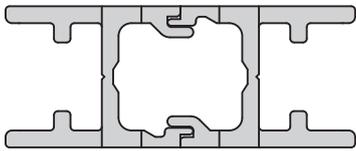
#### お願い

- 取付けの詳細については、**2-3 上棧・下棧の取付け**を参照してください。

- 3: 分割の場合は、縦棧と縦棧を取付け

#### お願い 1

- 縦棧は以下のように取付けてください。



##### 3-2-2 | TM1型

- 1: 上枠・下枠にφ4.5の穴加工
- 2: 切詰縦棧をパネルに取付け

#### お願い 1

- 切詰縦棧Aにパネルを以下のように差込んでください。



- 逆側は切詰縦棧Bで同じようにしてください。

- 3: 切詰縦棧を上枠・下枠に【4a】φ4×8トラスタッピンねじ3種 D=8で取付け

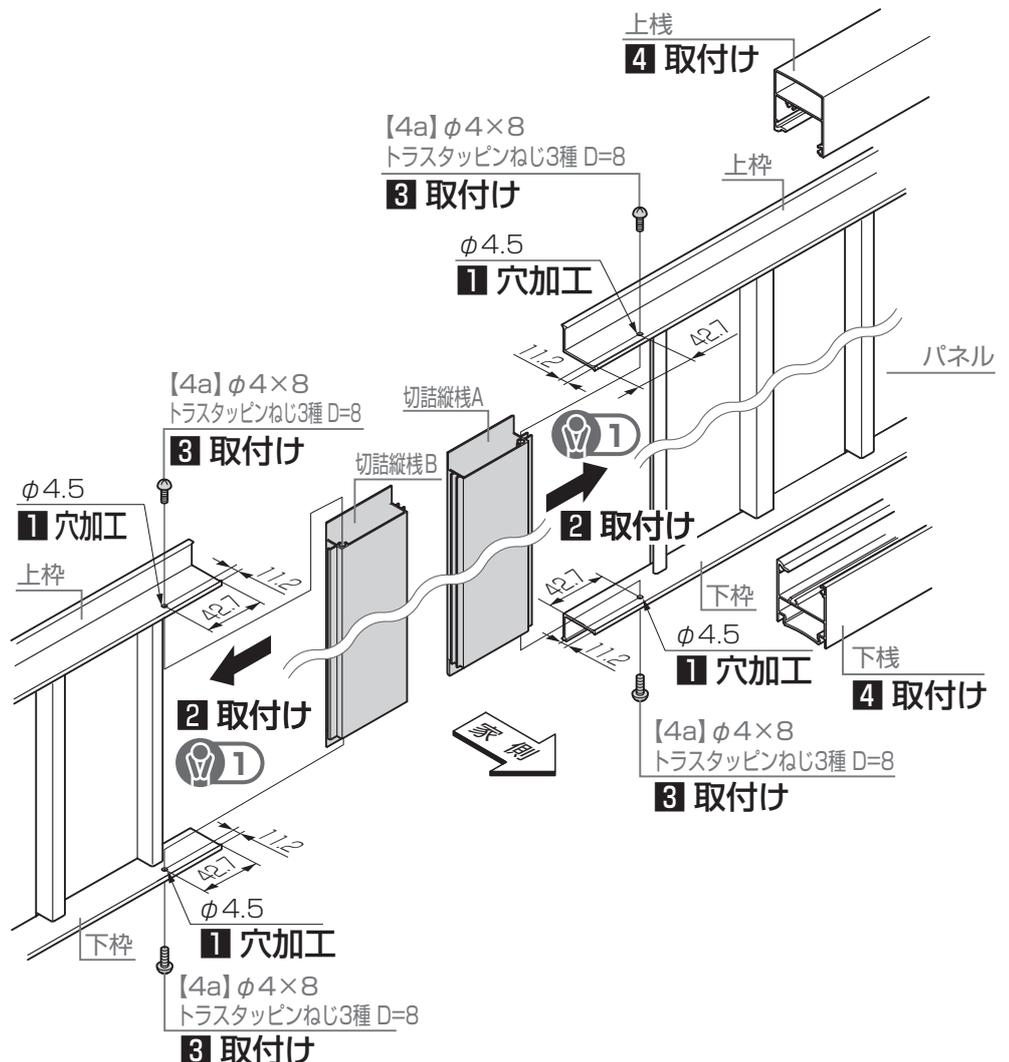
#### 補足

- 縦棧の取付けは、分割したフェンスを家側から見て左側を切詰縦棧A、右側を切詰縦棧Bにしてください。
- 分割したフェンスの片側のみ使用する場合は、切詰縦棧のどちらか1本余ります。

- 4: 上棧・下棧をもとのように取付け

#### お願い

- 取付けの詳細については、**2-3 上棧・下棧の取付け**を参照してください。



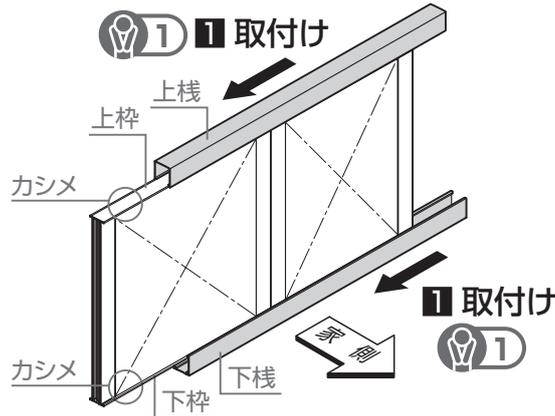
### 3 YS1型、YT2型、TM1型の場合

#### 3-3 上棧・下棧の取付け

1: 上棧・下棧をもとのように取付け

**お願い 1**  
●上下棧を取外した時と同様に、上下棧のスライド方向に注意してください。

**補足**  
●キャップの取付についてはキャップに同梱の取付説明書を参照してください。



## 梱包明細表

【1】切詰端部カバー (YL2型、YL2-K型、YL3型、YS2型、YS3型、YS3-K型、YM2型、YR3型)		員数																																	
名称	略図	YL2型、YL2-K型						YL3型						YS2型						YS3型、YS3-K型						YM2型				YR3型					
		T-6	T-8	T-10	T-12	T-14	T-16	T-6	T-8	T-10	T-12	T-14	T-16	T-6	T-8	T-10	T-12	T-14	T-16	T-6	T-8	T-10	T-12	T-14	T-16	T-6	T-8	T-10	T-12	T-14	T-16	T-6	T-8	T-10	
縦桟		1						1						1						1						1				1					
縦棧		1						1						1						1						1				1					
上下桟スペーサー		2						2						2						2						2				2					
【1a】φ4×15ナベタッピンねじ2種 G=3		2	2	2	2	—	—	2	2	2	2	—	—	2	2	2	2	—	—	2	2	2	2	—	—	2	2	2	2	—	—	2	2	2	2
【1a】φ4×20/インボタッピンねじ2種 G=5		—	—	—	—	2	2	—	—	—	—	2	2	—	—	—	—	2	2	—	—	—	—	2	2	—	—	—	—	2	2	—	—	—	—
【1b】φ4×6ナベタッピンねじ3種		11	15	19	23	27	31	11	15	19	23	27	31	15	21	27	33	39	45	8	13	17	21	23	27	11	15	19	23	27	31	8	12	16	
【1c】M4×6トラス小ねじ		2						2						2						2				2											
取付説明書<EXM-091>	—	1						1						1						1				1											

【2】切詰端部カバー (YS1型、YT2型)		員数							
名称	略図	YS1型				YT2型			
		T-6	T-8	T-10	T-12	T-6	T-8	T-10	T-12
縦棧		2				2			
【2a】φ4×15ナベタッピンねじ2種 G=3		23	31	39	47	23	31	39	47
取付説明書<EXM-091>	—	1				1			

【3】切詰め端部カバー (TS2型、TS2-K型)		
名称	略図	員数
切詰端部カバー		1
クッション材		4
【3a】φ4×15ナベタッピンねじ2種		2
取付説明書<EXM-091>	—	1

【4】切詰端部カバー (TM1型)					
名称	略図	員数			
		TM1型			
		T-6	T-8	T-10	T-12
切詰縦棧A		1			
切詰縦棧B		1			
【4a】φ4×8トラスタッピンねじ3種 D=8		4			
取付説明書<EXM-091>	—	1			

取説コード  
**EXM-091**  
JZZ638270C  
202212\_1049  
202412C\_1049